

2018年度 第3回 スポーツ・健康科学部教授会議事録要旨

日 時： 2018年 6月12日 (火) 午後 3時54分～午後 5時45分
場 所： 東松山校舎 管理棟3階 第1会議室
構成員： 54名 (定足数27名 ※参入しない者1名)
出席数： 44名 (定足数充足)
欠席者： 10名
議 長： スポーツ・健康科学部長

《報告事項》

1. 東松山キャンパス運営委員会からの報告について
議長の指名により、東松山キャンパス運営委員会委員であるスポーツ科学科教授から資料に基づき報告がなされた。
2. 2018年度 学長職務代理および学部長、東松山キャンパス運営委員会委員長職務代行者について
議長より、資料に基づき、本年度の学長職務代理および学部長、東松山キャンパス運営委員会委員長職務代行者について報告がなされた。
3. 2019年度 海外研究員、国内研究員、海外留学者、特別研究期間制度適用者の申請結果について
議長より、資料に基づき、本学部の健康科学科教授からの特別研究期間制度（サバティカル）適用者への申請が採択となったことの報告があった。
4. 2018年度 課外特別セミナーの申請結果について
議長より、資料に基づき、本学部の健康科学科講師からの申請課題が採択となったことの報告があった。
5. 2017年度 科学研究費補助金に係る間接経費の執行状況について
議長より、資料に基づき、科学研究費補助金に係る間接経費の2017年度執行状況について報告があった。
6. 2017年度 大東古本募金の実績について
議長より、資料に基づき、大東古本募金の2017年度実績について報告があった。
7. 2018年度 特別研究費助成の募集について
議長より、資料に基づき報告があり、特別研究費助成の対象は科学研究費補助金に申請することが前提であり、そのうち不採択となった研究課題に対して示される順位に応じて傾斜配分されることになっている旨の補足と積極的な申請【提出期限厳守】及び研究活動の推進に励むよう要請があった。
8. manaba の進捗状況および講習会について
議長より、資料に基づき進捗報告があり、東松山校舎においては、講習会が6月21日(木) 4時限目と5時限目(同一内容を2回)に、7号館教室にて行われる予定である旨の告知がなされた。

9. アクティブ・ラーニング型授業推進教室説明会の開催について

議長より、資料に基づき報告があり、説明会が6月26日①12:30～13:30、②16:40～17:40（①②とも同一内容）に、4号館教室にて行われる予定である旨と、後期授業からのAL教室使用申込みを、7月2日（火）～13日（金）の期間で、東松山教務事務室にて受付を行うことの告知がそれぞれなされた。

10. FD委員会からの報告について

①2018年度「卒業生アンケート」集計結果について

②2018年度「学生による授業評価アンケート」実施について<継続>

議長より、①については、学生の生の声として大学や学部・学科の在り方というもの捕らまえる大事な一つの指標であることから、追って内容等を各自確認願いたいこと。②については、前回のWeb方式アンケートの実施において回収率が低かったことを踏まえ、学生・教員のログインID・パスワードは、DBポータルと共通で初期設定を不要とし、授業時間内の終了15分程度を使ってアンケートを授業中に実施する。アンケート実施予定日の前週にアナウンスをし、デバイスを持参するよう促して、教員もアンケート終了まで教室内で待機のうえ、今回は実施する旨の周知がなされた。

なお、本年度は専任・非常勤教員ともシラバスに記載されているすべての開講科目〔一部の科目を除く〕を原則対象として、前期7月4日（水）～24日（火）までの期間で、Webアンケートの実施をする。

11. 学生支援センターからの報告について

①2017年度における退学者・除籍者の現状分析と対策について報告

②フレンドシップ・ウォーク2018申込者数等（アンケート結果含む）について

③2018年度 夏季休暇中の菅平セミナーハウス予約方法について

議長より、上記3件の資料に基づき、それぞれ報告があった。

12. 国際交流センターからの報告について

①2019年度 交流協定校長期派遣留学生募集について<ドイツ語圏・フランス語圏>

②駐日本国大韓民国外交館 SNS リポーター募集について

議長より、上記2件の資料に基づき、それぞれ報告があった。

13. 教職課程センターからの報告について

①教員養成コロキウム教養イベント（6/23講演会）の実施について

議長より、資料に基づき、教職課程センター主催による講演会が6月23日（土）大東文化会館にて開催される旨の告知がなされた。

14. 今夏の節電に対する基本的な考え方と対策について

議長より、資料に基づき説明があり、昨年同様の対応であるが、省エネ対策や熱中症対策等については特段の配慮をお願いしたい旨の要請があった。

15. 全国体育系大学学長・学部長会総会への出席報告について

議長より、新横浜プリンスホテルにて開催された「全国体育系大学学長・学部長会総会」に、学部長として出席したこと、同総会での詳細については、先刻のスポーツ科学科協議会において有益な情報等を申し伝えたので、この場では割愛する旨の報告があった。

16. 初級障がい者スポーツ指導員資格の認定について

議長より、スポーツ科学科においては昨年度からのカリキュラム改変に伴い、障がい者スポーツの資格に関する科目を新規に開講し、日本障がい者スポーツ協会が指定する授業内容を含む他の開講科目を合せて学生が履修・修得することにより、「初級障がい者スポーツ指導員」の取得が可能となるよう協会に申請を行った結果、資料のとおり同資格取得認定校に指定されたことの報告がなされた。

17. 「スポーツ発見教室」の実施について

議長より、資料に基づき、東松山市教育委員会スポーツ課主催（協力：大東文化大学）による「スポーツ発見教室 in 大東文化大学」が、市内在住の児童を対象に6月23日（土）本学総合体育館にて、スポーツ科学科の地域連携事業の一環としても実施されることの告知がなされた。

18. 健康科学科 臨地実習意見交換会の実施について

議長の指名により、健康科学科主任教授から6月30日（土）に大東文化会館にて、健康科学科生の臨地実習受入先である病院の技師長や担当者を招いての意見交換会を実施する予定である旨の告知がなされた。

19. 夏季講習（リメディアル授業）について

議長の指名により、健康科学科准教授から夏期休暇期間中に1日2コマ程度「数学」「化学」「生物」の各科目において、学生50人程度選抜のうえ夏季講習会を実施する予定であることの報告がなされた。

20. その他

・ビブリオバトル開催（6/16）について

議長より、資料に基づき、全学プロジェクト学生リーダー育成プログラム受講生による「Daito Education PLUS」から結成された学生団体のビブリオバトル実行委員会主催により、6月16日（土）東松山図書館（AVホール）にて、初めての『ビブリオバトル（本を紹介するゲーム）』が開催される旨の告知がなされた。

《報告承認事項》

1. 健康科学科特任助手の増員及び外部実習助手の廃止について（法人原案）

議長より、法人側からの提案として特任助手を新たに2名採用できるように規則を改正する方向で調整が進められていること、これに伴い支払報酬支出で予算計上していた「非常勤実習助手」の使用は今後差し控え、特任助手2名の増員をもって適正な状態に戻すという方針について、資料に基づき経緯説明が述べられた。

続いて議長より、本件については、最も利害関係のある当該部局となることから、あらかじめ法人原案として本教授会に開示されたものであり、本教授会がこれを了承してはじめて、次回の学部長会議に付議され、各学部教授会で意見を伺う段取りとなる旨説明があった後、健康科学科においてはこれに対応して、今後の雇用形態や運用を決してほしい旨要請があり、審議の結果、これが了承された。

2. 2018年度入試報告（総括・分析と今後の対応）および2019年度入試実施

概要（案）（追加）について

議長より、資料に基づき、①2018年度入試報告（入学センター所長の総括・分析と今後の対応）及び②2019年度入学試験（一般入試・推薦入試）実施概要・スケジュール・募集人員等について、それぞれ概括説明があり、これが了承された。

3. 2019年度 指定校推薦入試に係る工学院大学附属高等学校の扱いについて

議長より、資料に基づき説明があり、工学院大学附属高等学校推薦入試を取り止める決定に伴い、この代替措置として通常の指定校推薦としての取扱いの可能性についての伺いとなされていることから、指定校推薦を実施している「健康科学科」「看護学科」においては検討のうえ、期限までに回答を行うよう要請がなされた。

4. 看護学科の2020年度スポーツ推薦入試（2019年度実施）参入検討の依頼について

議長より、資料に基づき説明があり、入学センター経由にてスポーツ振興センターから、看護学科の2010年度スポーツ推薦入試への参入検討の依頼がなされていることから、看護学科において検討のうえ、回答を行うよう指示がなされた。

5. 2018年度 自己点検・評価シート草案の提出について

議長より、本年度の自己点検・評価活動については、前回の認証評価受審結果を踏まえ、第3期認証評価の展望とこれに準拠した本学独自の点検・評価システムを構築するために、点検・評価シートの書式を大幅に見直し、変更することとなったことから、年度始めの全体説明会と個別面談等を経て、現在、学部執行部において草案を作成・取りまとめを行っている旨の説明があり、まず草案を提出した後、総合企画室からの修正コメントを踏まえた一部の調整や修正等を行い、最終的な本提出をするまでの一連の作業について執行部一任にて取り計らいたいこと、本提出した点検・評価シートの内容については、次回教授会に提示したい旨の提案があり、これが了承された。

6. ナンバリング等に関する研修会（6/25）の出席者について

議長より、資料のとおり研修会への出席者が調整の結果、各学科・研究科においてそれぞれ決定したことの報告があり、改めて積極的な研修参加について要請がなされた。

7. 2018年度 履修者10名未満の授業について

議長より、全学教務委員会からの要請に基づき、資料のとおり今年度履修者10名未満の授業科目一覧が示されたことから、対象となるスポーツ科学科と健康科学科においては、学部長会議申合せ事項に則り、2年連続して履修者10名未満の授業科目の有無を確認するとともに、その要因や背景等を分析のうえ、他の授業科目との統合や隔年開講、開講せず又は廃止などを検討・協議し、統廃合等を行わないこととなった場合には、その理由を付して学長に承認を求めることとなっている旨の説明があり、議長の指名によりスポーツ科学科主任教授と健康科学科主任教授から現状報告がなされ、これが了承された。

8. Daito BASIS 部会からの「推奨科目」の選定・提案について

議長より、全学教務委員会において Daito BASIS 部会からの提案（本学が育成しようとする能力と人格を「大東学士力」として掲げ、これを実現するための基盤となる資質や機能を養うための4つの分野【①人間性の涵養、②国際性の確保、③社会人基礎力の養成、④心身の基礎力の育成】を想定し、全学共通科目、基礎教育科目の中のいくつかの科目を基盤教育科目（「Daito BASIS」）と称して2019年度から全学生に推奨したい）について、資料に基づき説明がなされた。

このことを踏まえ、審議の結果、取りあえず「羅針盤（履修の手引き）」のカリキュラム表に推奨科目と表記し、ガイダンス時などで学生に対して説明する方向で考えることが了承された。

9. PROGに関する結果報告について

議長より、資料に基づき、学部長会議において業者からの説明会があったこと、PROG テストを受験し、解説セミナーを受講した学生は、その結果を踏まえワークブックに沿った取り組みを実行することができれば、3年次にその測定結果を確認することにより自らの成長を知り、就職活動へ繋げることができると言われていたことの報告がなされた。

さらには、ディプロマポリシーに掲げるような点に関する「学生への教育効果の評価」および「学生が自らの向上を確認する」といったことの情報源として PROG の活用が全学的にも求められていること、学部（学科）としても自己点検・評価の課題項目として挙げているとおり、学生の成長や学びのレベルを測る「指標」を持ち合わせていないことから、短期・中期的に取り組むべき課題でもある旨の意見が述べられた。

このことを踏まえ、改めて議長より、本学部新入生全員を対象に実施した PROG に関する結果報告について、取扱業者に来校願い説明会を開催したいこと、この説明会を学部の FD 活動の一環として捉え、これを機会に各人が上記の課題等について認識を深めてもらいたい旨の提案があり、これが了承された。

1 0. 2017 年度 退学者対策の現況（回答）について<継続>

議長より、2015 年度以降 2017 年度までの退学者対策の現状について、学生支援センターから回答を求められている件で、前回の教授会において、スポーツ科学科と健康科学科の両学科主任にその報告書の取りまとめを要請した結果、資料のとおり回答がなされたことから、内容等に特段問題等がなければ提出したい旨提案があり、審議の結果、これが了承された。

1 1. 成績不振学生への対応 [進捗状況] について（スポ科・健康科）<継続>

議長の指名により、スポーツ科学科主任教授および健康科学科主任教授から両学科の成績不振学生への対応とその進捗状況についての報告が求められ、それぞれ経過報告等について発言があり、これが了承された。

1 2. 2018 年度「桐門の翼奨学金」受給者への指導について

議長より、資料に基づき説明があり、受給者に対する授業出席状況や学習状況について、各学科においてそれぞれ留意のうえ、実態把握はもとより適切な助言と指導をお願いしたいとの要請があった。

1 3. 2017 年度 特別研究費の研究成果報告書について

議長より、特別研究費 研究成果報告書の研究代表者であるスポーツ科学科教授の旧・所属学部時での研究課題の実施概要とその成果について、資料に基づき報告説明があり、これが了承された。

1 4. 指定寄附の受入れについて

議長より、資料に基づき、スポーツ科学科教授への指定寄附(金)の申込みがあり、株式会社 T からの研究費助成金として受け入れることについて報告がなされ、これが承認された。

1 5. 健康科学特別演習【後期】におけるイオン銀行の寄附講座の開講について

議長より、資料に基づきイオン銀行の寄附講座の実施に至った経緯について説明があり、続いて健康科学科主任教授と当該科目担当者の特任教授から、報酬等は一切発生しないこと、本講座開講の実現と実績により、今後は他学部との連携も視野に、オープン参加も期待したい旨の補足説明等がなされ、実施について了承された。

1 6. 新学会（学科単位）発足に伴う諸準備等について

議長より、新学会の発足と第1回総会開催の準備状況等について報告願いたい旨発言があり、各学会【スポーツ科学会・健康科学学会・看護学会】の会長となる各学科主任から、学会の規約と事業計画（案）・予算（案）に関して、それぞれ重点項目について報告がなされた。このことを踏まえ、改めて議長より、監査事項対応委員会からの指摘・改善が求められる事項について再確認し、遺漏なく各学会総会が開催できるよう指示がなされた。

1 7. その他

特になし

《議案》

1. 看護学科助教の2018年度就任辞退に伴う欠員補充に関する件<人事選考委員会設置>

議長より、看護学科設置認可時以降、本年度就任予定であった助教1名が一身上の都合のため就任を辞退した（未就任となった）ことから、現在欠員となっている助教1名について補充するべく、新たな採用人事を行わなければならない。ただし、今回の採用手続きに関しては、教授会での後任候補者の決定後に、速やかに文科省AC教員審査（10月）を受けることが前提であり、本候補者が適格者であると認められてはじめて、学内における法人手続きを進められることになるので、についてはこの審査に間に合わせるためには今回、後任の補充（採用）人事にかかる選考委員会を立ち上げたい旨の提案があり、これが承認され、選考委員会の発足となった。

2. 2019年度 看護学科特任助手（新規）採用に関する件<人事選考委員会設置>

議長より、看護学科設置認可申請時において、特任助手を13名任用することが認められており、そのうち3名の特任助手が本年4月に就任され、残り10名の特任助手を次年度採用する予定となっているが、本来10名の採用人事であれば、1名1つの選考委員会を立ち上げなければならないところであるが、既に候補者としての目途は立っていることから、今回に限っては1つの選考委員会のみを立ち上げて、各候補者の「履歴書・教育研究業績書」の内容について書類確認等を行い、かかる報告書を取り纏めるかたちで取り計りたい旨の提案があり、これが承認され、選考委員会の発足となった。

3. 2018年度 野外系実習授業（前期）の実施について

4. 2018年度 野外活動演習サマーの実施について

議長より、議案3、4を同時に取り計らいたい旨提案があり、これが認められた。

審議に先立ち、議長より、本件にかかる詳細な内容等については、スポーツ科学科協議会において審議したところだが、本年度も『学年暦』の関係から、実習日程を見る限りにおいて、4種目のうち1種目のみが、前期定期試験期間の最終日だけ被るかたちでの実習期間の設定とならざるを得ない諸事情があることを確認した旨前置きの後、今回その野外実習に参加する学生にあって前期履修科目のうち試験期間最終日に試験が入ってしまった者は、きちんと試験を受験してから、現地集合というかたちで実習場所に自ら出向き、1日目（半日分の未消化となる）の実習内容を2日目以降の実習の中で補講することを基本とし、学生がいずれも不利益を被らないよう取り計らうことを前提に、計画どおりに野外実習を実施したい旨の説明があり、このことを踏まえ審議の結果、これが承認となった。

5. 全学プロジェクト事業（学長提案事業）における学生リーダー育成プログラムへの学生の推薦について

議長より、資料に基づき説明があり、前年度に引き続いての全学プロジェクト事業となるため、必要に応じて各学科内で情報共有のうえ、然るべき学生の人選（参加者名簿の提出）については提出期限までに適切な学生を推薦願いたい旨の要請があり、これが了承された。

なお今回は、昨年度受講していない2年生を含め、各学科の入学定員の10%もしくは学部全体の入学定員の10%以内の人数を原則とするとなっていることもあるので、その人選等については、各学科主任を中心に取り纏めるよう指示がなされた。

6. 大東文化大学学費等検討委員会の答申（大学から法人への回答）について
議長より、資料に基づき説明があり、審議の結果これが承認された。
7. 大東文化大学特別研究費 制度改正の検討について
議長より、資料に基づき説明があり、審議の結果これが承認された。
8. 大東文化大学入学試験問題取扱要領の改正（案）について
議長より、資料に基づき説明があり、審議の結果これが承認された。
9. 沖縄国際大学との単位互換協定の締結（案）について
議長より、資料に基づき説明があり、審議の結果これが承認された。
10. 海外の大学（中国／上海交通大学）との交流協定書の締結（案）について
議長より、資料に基づき説明があり、審議の結果これが承認された。
11. 大東文化大学社会学研究所規程の制定（案）について
議長より、資料に基づき説明があり、審議の結果これが承認された。
12. 大東文化大学経済研究所規程の改正（案）について
議長より、資料に基づき説明があり、審議の結果これが承認された。
13. 2018年度 客員研究員の申請について<健康科学科>
議長より、資料に基づき客員研究員の受入について、健康科学科准教授から新規1件の申請があったことの報告があり、健康科学科協議会の推薦に基づき、審議の結果これが承認された。
14. 兼職について
議長より、資料に基づき説明があり、これが承認された。
15. 海外渡航等について
議長より、資料に基づき説明があり、海外渡航が承認された。
16. 学生の派遣について
議長より、資料に基づき説明があり、これが承認された。
17. その他
 - ①学部国際交流事業にかかる協定校「上海体育学院」との交流打合せについて
議長より、資料に基づき説明があり、学部国際交流委員会委員のスポーツ科学科教授から先方と交渉を重ねてきたが、ようやく6月に訪中する計画が整ったことの経過について補足がなされ、審議の結果、これが承認となった。

②2018年度 海外インターンシッププログラム（ハンガ・NOVA 大学 CIOS 校）

募集要項（案）について

議長より、本件は本年4月上旬に学部国際交流事業の一環として実施された「CIOS 国際交流イベントへの学生派遣」で、これに参加した学生のうちの1名に対して、主催者側の NOVA 大学 CIOS 校から、同校の運動部・クラブのサポートや同校が運営するスポーツクラブの施設運営サポートといったインターンシップへの参加の勧誘がなされことに起因するものである旨の経過等について前置きがあり、その後、大学の国際交流事業の促進を目的として、資料のとおり大学（国際交流センター）が、かかる海外インターンシッププログラムへの学生参加を募集し、その応募資格者としてスポーツ・健康科学部生[前述者]がこれに手を上げるかたちで、交流協定に基づく CIOS 校でのインターンシップに学生を派遣したいことから、まずは当該対象部局となる学部教授会において今回の募集要項（案）を承認願いたいとする国際交流センターからの意向について説明がなされた。また、本学部生の中で資格要件に見合うかたちでこのインターンシップに応募・参加したい者がいた場合には、若干名の追加受入れも可能であることの補足説明があった。このことを踏まえ、審議の結果、これが承認となった。

以 上